

9 月号

2026.9.3

水高図書館だより

怒濤

水高蔵書検索
カーリル



「図書館とであう海の本」の展示に合わせて図書広報委員が選んだ
「水高でであう海の本」を展示しています。

水高で
であう
海の本



図書館と
であう
海の本



「図書館とであう海の本」は、海をつなぐミュージアム MOONの常設展示です。北海道から沖縄まで、全国100館の図書館が選んだ約600冊の海の本を紹介しています。
表紙から、タイトルから、言葉から、身近な図書館から好きな方法で海の本を探することができます。
山形県からは鶴岡市立図書館が参加しています。

裏面は新刊紹介



リクエストは
こちらから

新刊紹介



『たとえ祈りが届かなくても君に伝えたいことがあるんだ』

汐見夏衛 KADOKAWA

高校2年生のなずなのクラスメイト・鈴白くんが突然命を絶った。容姿端麗、成績優秀—すべてが完璧な彼の悩みとは何だったのか。後悔の中、鈴白くんとの思い出の砂時計に願いを込めて眠ると、なずなは1ヶ月前にタイムリープしていた。しかし鈴白くんはひと月後にまたも死を選んでしまう。彼の死を止めるため何度も時を巻き戻すなずな。そんな彼女の行動に、ひとりだけ気づいている男子生徒がいて—。祈りと叫びの青春物語。

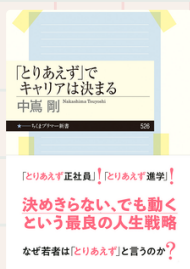
映画化決定！



『はじまりのスープ、夏ゼリー』 瀬尾まいこ 新潮社

つぶれそうな食堂のオリジナル親子丼。涙が止まらない、海の味のスープ。ごはんをお代わりさせる豚キムチ。熱中症を救った牛乳小豆シャーベット。そして、思い出のカラフルゼリー。中森リリーが作る料理には、人の心をつなぎ直す力があふれている。読めばきっと、誰かとごはんを食べたくなる、やさしさに満ちた物語。

リリーの自己肯定感の低さにモヤモヤしていたけど、ただ人と深く関わらなかったから気づけなかっただけ。自分のアピールポイントは身近な人が気づいて教えてくれることもあります。



『「とりあえず」でキャリアは決まる』 中島剛 筑摩書房

決めきらない、でも動くという最良の人生戦略

「とりあえず公務員」「とりあえず買おうかな」。さまざまな意思決定に現れる「とりあえず」の背景にある心理と、「とりあえず志向」の実態、意外な効用について。

「とりあえず」志向をもっとポジティブに捉えると、人生（キャリア）における進路選びがしやすくなるかもしれません。



『ビーチコーミング小事典』 林重雄 文一総合出版

ビーチコーミングとは、「浜辺を歩いて打ち上げられた漂着物を集めたり、観察する」こと。浜辺で見つかる美しい貝やビーチグラス、見たことのない生き物や歴史を感じる昔の陶片まで、不思議な魅力の詰まった漂着物300種類以上を豊富な写真とともに解説。

実際に浜辺に打ち上げられた自然物（生き物、貝、鳥、石ころ）、人工物（漁具、陶器、仏像）の写真を眺めていると、こんなものも！と驚かされます。ビーチコーミングにおすすめの海岸も紹介され、浜辺の散策がさらに楽しめる1冊です。



『マリントキシン 海洋生物がもつ自然毒』

長島裕二・荒川修・高谷智裕・糸井史朗 編集 成山堂書店

海の恵みは、ときに命を脅かす。フグ毒や貝毒、クラゲの刺毒など、多様で複雑なマリントキシン（海洋生物がもつ毒）について、基礎から最新研究までやさしく解説。気候変動が毒の分布と危険性をどう変えるのかも描き出す。水産・食品・海洋科学を志す人に向けた、今読みたい入門書。